



会 長	小林 幹夫	青少年奉仕	橋本八右衛門
副 会 長	道尻 誠助	幹 事	正部家光彦
クラブ奉仕		会 計	佐々木泰宏
会長エレクト	紺野 広	会場監督	峯 正一
職業奉仕	妻神 和憲	直前会長	小井田和哉
社会奉仕	地代所久恭	副 幹 事	松本 剛典
国際奉仕	中村 稔彦	会計補佐	山村 和芳

例会日 毎週水曜日 12:30 例会場 八戸グランドホテル  
 事務所 八戸市番町14 八戸グランドホテル内  
 電話 (43) 0608 FAX (43) 0661  
 e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp  
 http://hachinohe-rotary.org/  
 会報・広報委員長 峯 正一 同副委員長 荒谷 達也  
 同 委 員 廣田 茂 同 委 員 道尻 誠助

国際ロータリーのテーマ — 2022~23 — 八戸ロータリークラブのテーマ  
**イマジン ロータリー** **ロータリーの力を信じよう!**

国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ

八戸ロータリークラブ会長 小林 幹 夫

## 4 月 は 母 子 の 健 康 月 間 で す

————— 第 3 2 6 5 回 例 会 2 0 2 3 . 3 . 2 2 —————

### 会 長 要 件 小林 幹夫 会長



まずはWBC優勝しましたね。今週は場所を変えてプラザホテルで通常の例会を行います。先週はパークホテル、今週はプラザホテルですので、

食事の感想を伺い、次の移動例会に役立てたいと思います。



3月22日は国連の定めた

「世界水の日」です。RI本部からもメールをいただいています。ロータリーでも水に力を入れていることは皆さんご存じだと思います。きれいな水を飲めるのは世界中で10人のうち9人。10人のうち1人はきれいな水を飲めていないようで、人口にすると7億人ちょっと。そのくらいの方がきれいな水がすぐに飲める環境にないことになります。目の前にあるコップの水に感謝すると共にロータリー財団への寄付をお願いする次第です。よろしくお祈りします。

### 米山奨学生について 小林幹夫会長

この4月から八戸クラブとして米山奨学生を受けることになりました。学校は八戸学院大学看護学科の生徒です。田中ガバナーと築館エレクトより、八戸クラブに米山奨学生の世話クラブになったので世話クラブ委嘱状をいただきました。クラブで受けると同時にカウンセラーも受けなければいけません。村上壽治先生にお願いするという委嘱状もいただきました。

**委 嘱 状**

八戸ロータリークラブ 村上壽治 殿  
 貴殿を下記奨学生のカウンセラーに委嘱申し上げます

2023年 年

国際ロータリー-2830地区  
 2022-23年度ガバナー 田中常治



## 幹事報告 正部家光彦 幹事



○来週の例会はありません。  
○4月5日の例会場はグランドホテルです。

なぞかけです。お墓参りとかけまして、受験生の合格発表の前の日ととく。心はどちらも線香（選考）を前に手を合わせます。

## 委員会報告

親睦・会場委員会

増田 敏委員



○ニコニコボックスの報告

- ・奥様誕生祝 村上壽治  
夏堀礼二さん
- ・結婚記念日 村上壽治  
夏川戸 齊・築館智大さん

妻神和憲・小林幹夫 } WBC日本優勝おめでとう!!  
永澤 信さん }

広瀬知明さん 地代所さん、岡崎さん、夏堀さん3分間スピーチ、よろしくをお願いします。

鶴飼寿栄さん ついついグランドHに行ってしまうジプシー例会かな。

橋本八右衛門さん 歩くと遠いプラザホテル。2度と機会はないでしょうか？

正部家淳司・地代所久恭 } ニコニコデー  
中村稔彦さん }

種市良雄さん新入会員 | DM報告

小田山紀暢さん



3月15日に種市良雄さん歓迎 | DMを開催しました。19名?とたくさんの方にご参加いただきました。種市先生はわたしと年齢も近いので嬉しく思っていますし、先輩の皆さんからもよく来てくれましたという思いをいただいて、ひじょうに楽しい会でした。二次会も楽しい会でした。これからわたしも含め、八戸ロータリーの方々ともよろしく申し上げます。

3分間スピーチ

地代所久恭さん



わたし共の仕事についてお話しします。コンクリートパイルを扱っていて、工場で生産し、現場で施行するというものです。パイルは建物の基礎となる杭のことで、わたし共がやっているのは、その杭の中でもコンクリートのパイルをやっている、重量のある大きい建物の杭と住宅等の小型のパイルの2種類を扱っていますので、きょうはその辺をお話しさせていただきます。

大きいパイルはストレート杭が基本ですが、いろいろな杭があります。太さは最低30cmで最大が1m20cmです。ドラム缶が700mmですのでそれより大きい。1200mm×15mだと1本あたり約12トンくらい。建物の規模や地盤にもよって、わたし共ではいろいろと構造計算を設計事務所に提供しながら、地盤に適した、また最も経済的に安いものを提供するような仕事をさせていただいています。これを設計図面に採用いただいています。1本あたり7~15mの規格があります。例えば地盤が60m入れば4本。すると12本×4本で48本。1本あたりという基本です。

わたし共には施工部門があります。昔はガンガンと打っているイメージがありましたが、昭和終わりくらいから、打つことはほぼなくなりました。無振動無騒音工法といって先に穴を開けます。例えば支持基盤が50mとすれば55m掘って、土を取り除いて空洞にします。そのわたし共の杭を所定の位置までクレーンで入れます。そこに水で溶いたセメントミルクを封じ込んでやって、土と杭とセメントと一緒にして強度を出すというやり方が今は主流です。

うちを含めて全国で約50社のメーカーがありますが各社競争です。うちにも6つの工法がありますが、これは国交大臣の認可を取らなければなりません。1つの工法に2~3年かかりますし、費用も1つあたり2億円以上かかります。また九州で新しい工法が出まし

たので、現在やっています。次から次へと日進月歩ですので、お金もかかるし技術者もたいへんです。

八戸市内の主な建物としては、白山台浄水場は500mm×600mmのパイルを1776本、最新の内丸八戸中央駐車場452mm×900mmと結構太いものを使っていますが126本。理屈としては太いものを数少ない方が安い。白山台浄水場は50cm×60cmの杭ですので、これだけの本数になっていますが、最新の建物では太いものを数少なく納める。それによって安くあげる計算になっています。

沼館？は44m×45m。あの辺はけっこう地盤が悪いですね。一番入ったのは下長にあった市営住宅で70mと聞いています。悪いのは類家です。田向、類家、諏訪、青葉、下長地区、長苗代、石堂、高州等。八食センターも38m。市民病院37m×763本、八戸高校も7mと31m。ここは地盤というよりも、7mという恐らく渡り廊下、軽い建物です。重いところにはパイルを打っていることだと思います。建物の荷重によってどこで杭でとめるかという経済設計を考えているということです。一番深いところまで打つとそれだけ費用がかかりますので、軽い建物はちょっとしたところ、重い建物は一番下という感じになります。わたしの自宅のすぐ近くの警察署は24m。500mmからうちまるせんといって、80cmと1mがくっ付いた杭です。あの程度の建物で1mの杭を使っています。これも6m×24mで531本使っています。

上北地区のおいらせ町タケダスポーツも悪いです。青森地区の悪いところは60m以上、東奥日報のあたり。県内で一番悪いと言われているのは五所川原地区です。どこを掘っても50m以上。東北で一番悪いと言われているのは秋田市内で80m、大館地区にいくと地盤はいい。県内で一番地盤の良いのは弘前、黒石市で、この辺はほとんど杭が必要ないです。米どころにお城を構えたわけで。

わたし共は青森、岩手、秋田、宮城県までやらせていただいています。

住宅用杭はH型をしています。H型杭は木

造住宅用で、土との摩擦抵抗をH型が一番大きい。地盤調査をして、杭には特殊な鉄筋が入っていますから上から荷重をかけても折れないようなものです。それも穴をあけて、その上に圧入をかけて押し込んでいきます。

青森県太平洋側は地震が多いので、転ばぬ先の杖のようなものをご理解いただければと思います。

Q1：パイルを打ったら水が出たとか

A1：まれだと思いますが、0ではないと思います。

Q1：水脈が触るわけ？

A1：わたし共では出たことがないので

Q1：

A1：わたし共ではないと思います。

Q2：古い建物を建替えの場合は杭を抜いてから新たに？

A2：抜いて建てるのが一番いいのですが、抜くのに打つと同じくらいかかる。ですからそこは設計事務所さんと要相談ではないかと思います。

岡崎孝文さん



きょうはWBCではなく、マイナーなスポーツのフェンシングについてお話しします。わたしがフェンシングを始めたのは高校生ときです。宮城県の高校に部活があったのは15高校で、当時の日本のフェンシング人口は2万人でした。ですから大会に出てもメダルがないマイナーなスポーツでした。現在のフェンシング競技ですが、宮城県の高校部活は10高校です。50年経って10高校です。では日本のフェンシング競技人口はというと当時の20,000人から今は6,000人を切っています。本当にますます、以前にもまして、弱小なマイナースポーツになっています。

競技人口が減って練習環境がなくなっているフェンシング競技ですが、競技成績は北京オリンピックで太田選手が銀メダル、ロンドンオリンピック団体で銀メダル、去年の東京

オリンピックは金メダルです。嬉しいです。また同じようにマイナーなスポーツだった卓球やレスリングもみんなどこで練習しているのかな。競技人口が減っているのにメダルをとったり、若い人たちがオリンピックで活躍している。不思議な国です。

「味トレ」って聞いたことはありますか？味の素が関係していますが、ドレッシングや調味料ではありません。これは「味の素ナショナルトレーニングセンター」といって、日本のトップアスリートたちのために国立のトレーニング施設です。場所は赤羽辺りにあります。

このトレーニング施設ではトレーニング、栄養、休養に基づいてトレーニングしていますが、その隣に国立スポーツ科学センターがあり、この2つを合わせてニューアスリートは練習や科学トレーニングなどをチームジャパンとしてやっています。

「味トレ」の中では10種類くらいの授業をやっていて、国際交流、アンチドーピング、栄養管理などのほかにJOCエリートアカデミーがあります。これはマイナースポーツの方々を国際大会に行ける選手を中学1年生から高校3年生までのジュニア世代を一貫して育成していこうという事業です。これは2008年からやっています。対象競技は7種目あり、レスリング、卓球、フェンシング、ライフル射撃、ボート、アーチェリー、飛び込みです。この施設の中にフェンシングなどの運動施設があり、その中で皆さんやっています。どうしたら自分の子供や孫たち、教え子をここによこすことができるか。競技団体の全国大会で優勝する、または適性を満たすと入れます。競技によっては体力テスト、性格診断、職業適性診断などもあるようですが、毎年4月に4、5人が入部します。選抜された生徒は全国からですので親元を離れ、東京の味トレで寮生活をします。そこから近くの中学校に通ったり、通信委教育で高校の勉強をしながら競技力、知的能力、生活力、語学力などを

トップアスリートを目指してやる授業です。

どうして寮生活をするかというと、他の競技と一緒に同室になります。家に帰れるのはゴールデンウィークと夏休みの1週間、お正月だけです。それ以外は休日の遠出は許可が出ません。年間を通じてそこにいる生活をします。一番大変なのは寝る前にスマホを預けなければいけない。これが一番つらいそうです。食事は味の素がついているので。

学校は海外に行かないといけないので、語学力を身に付けないといけない。英語、韓国語、フランス語は必須。毎週土曜日に英会話の授業がある。当然選手ですから試合にも出ます、遠征に行く、すると学校にもいけない、授業にもでられない。学力を補うために学校からプリントがあったり、オンラインで指導したり。それでも追い付かない場合はアカデミーの中で補講をやって学力を追い付かせる。

平成4年度のアカデミー生は25人です。昨年行われた東京オリンピックで卒業生やアカデミー生がどれくらい活躍したかということですが、レスリング、卓球、フェンシングなどで5つのメダル、4人の入賞者を出しています。このアカデミーに青森県から1人入っています。平成30年入校の10期生として入った坪颯登さんで、中学2年まではむつ市にいて、中3からアカデミー生として味トレに入校しました。東京の中学校に通学しました。「ぼくは味トレに入校して、競技力向上だけでなく人間力向上も目標に頑張りたい」と入りましたが、今は卒業して日本体育大学に入学しています。アジア大会にも出ています。パリオリンピックの選考にも頑張っています。パリオリンピックに坪颯登君が出たら、青森出身ですので、ぜひ応援したいと思います。わたしも楽しみにしています。

小林会長：植草務さんの転勤が決まりました。八戸から本社に転勤だそうです。来週は休会で、最後の出席は4月19日だそうですので、その時にご挨拶をいただきたいと思います。

出席報告						出席委員会																	
第3265回例会（3月22日）			第3263回例会（3月8日）																				
出席率		66.1%		出席率		63.2%		修正出席率		68.3%													
総会員数		62名		出席数		39名		総会員数		62名		メイクアップした人数		3名									
出席義務会員		59名		出席免除会員		3名		欠席数		20名		出席義務会員		60名		出席免除会員		2名		欠席数		19名	